

会 告

平成 26 年度日本魚病学会秋季大会のご案内 会場ならびに日程

大会会場：九州大学中央図書館視聴覚ホール 4階

(会場入口は、中央図書館正面玄関の反対側にあります。)

大会案内：平成 26 年 9 月 22 日 (月) ～ 9 月 23 日 (火)

大会日程	時 間	行 事
9 月 22 日	9:00	受付開始
	9:30～11:00	口頭発表
	11:00～12:00	ポスター発表
	12:00～13:00	平成 26 年度第 2 回幹事会
	13:00～14:00	口頭発表
	14:00～15:00	平成 26 年度学会賞選考委員会
	15:00～16:00	平成 26 年度第 2 回評議員会
	16:00～17:00	平成 26 年度第 2 回編集委員会
9 月 23 日	9:00	受付開始
	9:30～11:15	口頭発表
	13:00～14:45	口頭発表

会場への交通案内：

- ・空路： 「福岡空港」 → (地下鉄空港線) → 「中洲川端駅」 で貝塚方面へ乗換 → (地下鉄箱崎線) → 「箱崎九大前駅」 で下車、徒歩 7 分
- ・JR： 「JR 博多駅」 → (地下鉄空港線) → 「中洲川端駅」 で貝塚方面へ乗換 → (地下鉄箱崎線) → 「箱崎九大前駅」 で下車、徒歩 7 分 もしくは「JR 博多駅」 (普通電車) → 「JR 箱崎駅」 で下車、徒歩 15 分
- ・西鉄： 「西鉄福岡駅」 → (徒歩 3 分) → 「天神駅」 → (地下鉄) → 「箱崎九大前駅」 で下車、徒歩 7 分
- ・高速バス： 「天神バスセンター」 → (地下鉄) → 「箱崎九大前駅」 で下車、徒歩 7 分

詳しくは九州大学 HP (<http://www.kyushu-u.ac.jp/access/index.php>) あるいは九州大学中央図書館 (<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/libraries/central/locations>) のアクセスマップをご覧ください。

会場 周辺地図



9月22日(月)

座長 高野 倫一 (水研セ増養殖研)

9:30 101 寄生虫感染部位においてトラフグ好塩基球はマスト細胞へ分化する
 °小高智之・末武弘章・前田知己・宮台俊明(福井県大海洋生資)

9:45 102 Identification of suppressors of cytokine signaling (SOCS)
 in Japanese flounder *Paralichthys olivaceus*

°Kittipong Thanasaksiri・Ikuo Hirono・Hidehiro Kondo(海洋大)

10:00 103 A new method of intestinal epithelial passage of betanodavirus vaccine with
 the aid of natural inflammatory substances for the development of oral vaccine

°Alkhateib Y. Gaafar (National Research Centre, Egypt)

Hirofumi Yamashita (Ehime Fisheries Research Center)

Toshihiro Nakai (Graduate School of Biosphere Sci., Hiroshima Univ.)

座長 小高 智之(福井県大海洋生資)

10:15 104 クロマグロ *Thunnus orientalis* におけるイリドウイルス不活化ワクチン接種後の
 生体防御関連遺伝子の発現解析

°小林圭吾・櫻井太樹・Walissara Jirapongpairroj(海洋大)

安池元重(水研セ中央水研)・神村祐司・赤澤敦司(奄美養魚)

近藤秀裕・廣野育生(海洋大)

- 10:30 105 Sequence analysis of immune-relevant genes of amberjacks from Next Generation Sequencing (NGS) and primer design for studying the immune response against red sea bream iridovirus vaccine
 °Walissara Jirapongpaioj・小林圭吾・桜井大樹・桜井研(海洋大)
 福田穰(大分水研)・高野倫一・坂井貴光・松山知正(水研セ増養殖研)
 中易千早(水研セ本部)・野崎玲子・廣野育生(海洋大)
- 10:45 106 イシダイ、カワハギ、ヒラメおよびマダイに対する次世代シーケンサーを使用した免疫関連遺伝子の網羅的探索
 °高野倫一(水研セ増養殖研)・安池元重・中村洋路(水研セ中央水研)
 加藤豪司・坂井貴光・松山知正・栗田 潤(水研セ増養殖研)・藤原篤志(水研セ中央水研)
 近藤秀裕・廣野育生(海洋大)・中易千早(水研セ本部)

11:00～12:00 ポスター発表プログラム

12:00～13:00 平成 26 年度第 2 回幹事会

座長 山本 淳 (鹿大水)

- 13:00 107 ヒラメ筋肉に寄生する粘液胞子虫 *Kudoa septempunctata* の感染防除法に関する検討
 °西岡 豊弘・佐藤 純・米加田 徹・森 広一郎(水研セ増養殖研)
 太田 健吾(水研セ瀬水研)・森岡 泰三(水研セ西水研)・呂 明媚
 横山 博・良永知義(東大院農・水圏)
- 13:15 108 マボヤ被囊軟化症の被囊軟化機構に関する研究
 ～病原鞭毛虫からのプロテアーゼ検出と軟化時に量的変化する被囊タンパク質の探索～
 °北村真一・野澤昭乃・仲山 慶(愛媛大)・山田力志・澤田 均(名古屋大)
 広瀬裕一(琉球大)・縄田 暁(宮城県)
- 13:30 109 スクーチカ症の原因虫 *Miamiensis avidus* における細胞外プロテアーゼの役割
 °伊藤 沙耶美・檜崎 幸恵・仲山 慶・北村 真一(愛媛大)・大林 由美子(筑波大)
- 13:45 110 ワムシ培養を安定させるプロバイオティクスの探索
 ー小規模水槽における動態ー
 °渡邊研一・奥田泰生・樋口亜弥子・岩倉健介・植松慎之介・規矩史則・砂川典正
 中島一貴・中村俊貴・二木大介・目黒勝大(東農大生物産業)

14:00～15:00 平成 26 年度学会賞選考委員会

15:00～16:00 平成 26 年度第 2 回評議員会

16:00～17:00

平成 26 年度第 2 回編集委員会

9 月 23 日 (火)

座長 中井敏博(広大院生物圏)

- 9:30 201 マダイイリドウイルス病ワクチンにおける液性免疫の関与
○南隆之・金丸昌慎・松浦光宏(宮崎水試)・福田穰(大分水研)
松山知正(増養殖研)・中易千早(水研セ)
- 9:45 202 コイヘルペスウイルス (KHV) のコンカテマーゲノムを特異的に検出する PCR 法の開発
○河東康彦・湯浅 啓・嶋原佳子 (水研セ増養殖研)・大迫典久 (水研セ北水研)
- 10:00 203 キンギョヘルペスウイルス性造血器壊死症ウイルスの増殖等の特性について
柴田智也・南條 梓・齊藤真慧・吉井啓亮 (海洋大)・伊東尚史 (水研セ増養殖研)
中西照幸 (日大生物資源)・坂本 崇・○佐野元彦 (海洋大)

座長 佐野 元彦 (海洋大)

- 10:15 204 KHV 検査における「同居法」の検査精度の検証
○湯浅 啓・河東康彦(水研セ増養殖研)
- 10:30 205 CyHV-3 による急性の死亡原因は低浸透圧ショックである
○三輪 理・桐生郁也・湯浅 啓・伊東尚史(水研セ増養殖研)・金子豊二(東大院農)
- 10:45 206 魚類養殖環境海水からのベータノダウイルスの定量的検出
○西 晋之介・中井敏博 (広大院生物圏)・山下浩史 (愛媛水研セ)
河東康彦 (水研セ増養殖研)
- 11:00 207 イムノクロマトによるヒラメ血漿中の補体 C7 の検出
○坂井貴光・松山知正・高野倫一(水研セ増養殖研)
木本圭輔・吉岡宗祐・福田穰(大分水研)・中易千早(水研セ本部)

11:15～13:00 休憩

座長 楠本晃子(帯広畜産大学)

- 13:00 208 実験感染させたキセノハリオチス症原因菌の動態に及ぼす水温の影響
○桐生郁也・西岡豊弘・湯浅 啓・嶋原佳子(水研セ増養殖研)・釜石 隆(水産庁)
乙竹 充(水研セ中央水研)・大迫典久(水研セ北水研)

- 13:15 209 Kinetics of Infection of a Gliding and Non-gliding Strain of *Tenacibaculum maritimum* on the Abraded Skin of Japanese Flounder
 ○ Tanvir Rahman • Koushirou Suga • Kinya Kanai (Nagasaki Univ.)
 Yukitaka Sugihara (Nagasaki Prefect. Inst. of Fish.)
- 13:30 210 近年発生したアユの *Pseudomonas anguilliseptica* 感染症
 ○嶋原佳子・桐生郁也・河東康彦・西岡豊弘・湯浅啓・三輪理(水研セ増養殖研)
 釜石隆(水産庁)・大迫典久(水研セ北水研)・保坂芽衣(秋田水振セ)
 中井敏博(広大院生物圏)

座長 桐生郁也(水研セ増養殖研)

- 13:45 211 *Tenacibaculum maritimum* の滑走運動変異株の解析
 ○楠本晃子・内田大介・秀島悠・川本恵子
- 14:00 212 *Edwardsiella tarda* の線毛発現と培地の NaCl 濃度
 ○Indah Istiqomah・中井敏博(広大院生物圏)・河東康彦(水研セ増養殖研)
 西木一生・安池元重・中村洋路・藤原篤志(水研セ中央水研)
- 14:15 213 魚類養殖場で分離された *Edwardsiella tarda* フェージの宿主特異性とゲノム型
 ○菅谷恵美(福山大生命工)・安池元重・西木一生・中村洋路
 藤原篤志(水研セ中央水研)・菅谷琢磨(水研セ瀬戸水研)・中井敏博(広大院生物圏)
- 14:30 214 フェージの出現動向に基づくマダイのエドワジエラ症の発生予測-II
 ○玉田拓斗・中井敏博(広大院生物圏)・菅谷恵美(福山大生命工)
 河東康彦(水研セ増養殖研)・山下浩史(愛媛水研セ)

ポスター発表プログラム

9月22日

11:00 ~ 12:00

- 301 Quantitative change of red seabream iridovirus (RSIV) in rock bream *Oplegnathus fasciatus* with Poly(I:C) administration
 °So-Young Oh , Wi-Sik Kim , Myung-Joo Oh and Toyohiko Nishizawa (Chonnam National University)
- 302 Kinetics of nervous necrosis virus (NNV) in sevenband grouper, *Epinephelus septemfasciatus*, surviving an NNV-infection
 °Hyun Jung Gye, Bomi Choi, Myung-Joo Oh and Toyohiko Nishizawa (Chonnam National University)
- 303 Cell culture medium inhibits antigen binding used in an ELISA for detection of antibodies against nervous necrosis virus
 °Bomi Choi, Hyun Jung Gye, Myung-Joo Oh and Toyohiko Nishizawa (Chonnam National University)

- 304 新規 *Edwardsiella tarda* 溶菌バクテリオファージ株 FW-3 の全ゲノム配列解析
°安池元重・西木一生・岩崎裕貴・中村洋路・藤原篤志 (水研セ中央水研)
菅谷恵美 (福山大生命工)・河東康彦 (水研セ増養殖研)・長井 敏・小林敬典
乙竹 充 (水研セ中央水研)・中井敏博 (広大院生物圏)
- 305 天然河川におけるアユのエドワジエラ・イクタルリ感染症の発生には水温や増水が関係する
°竹内久登・平塚元幸・生沼大樹・海野芳幸・中野大輝 (日大生物資源)
石川孝典 (栃木水試・日大生物資源)・龍岳比呂・高瀬智洋 (都島しよ総セ)・間野伸宏 (日大生物資源)
- 306 ウイルス感染時に誘導されるクルマエビ生体防御関連遺伝子のマルチプレックス RT-PCR アッセイの確立
°河野 智哉・堀内 美咲・引間 順一・長峯 隆介・木原 啓輔・伊丹 利明・酒井 正博 (宮崎大農)
- 307 クルマエビ (*Marsupenaeus japonicus*) 血球における各種サイトカインおよびサイトカイン受容体の発現
°稲田真理 (海洋大)・米加田徹 (水研セ増養殖研)・酒井正博・伊丹利明 (宮崎大・農)
近藤秀裕・廣野育生 (海洋大)
- 308 ヒラメ T-bet および GATA 遺伝子の構造および発現解析
°兼重慶恵・近藤秀裕・廣野育生 (海洋大)
- 309 マダイイリドウイルス (RSIV) 不活化ワクチンを接種したマダイ、ブリ及びヒラメにおける RSIV の消長
°坂井貴光・高野倫一・松山知正・佐野菜採・加藤豪司・栗田潤 (水研セ増養研)・中易千早 (水研セ本部)
- 310 アミアの好中球の形態学的特徴
°近藤昌和・安本信哉・高橋幸則 (水大校)
- 311 アミアの好塩基球および好酸球の形態学的特徴
°近藤昌和・安本信哉・高橋幸則 (水大校)
- 312 マラカイトグリーンはテトラピア PXR と RXR のタンパク質間相互作用を阻害する
°木下祥二郎・松永花野・片桐孝之・舞田正志・延東真・二見邦彦 (海洋大院)
- 313 腫瘍組織由来培養細胞 (CT-1) の株化とその特性
安本信哉・古賀大滋・°中村和也・近藤昌和・高橋幸則 (水大校)
- 314 冷水細菌由来コラゲナーゼがアユ表皮に及ぼす影響の検討
°中山仁志 (和歌山水試)・田中啓友・寺村直子・服部俊治 (ニッピ・バイオマトリクス研究所)
相川英明 (神奈川水技セ)・岡村貴司 (滋賀水試)・本川祥吾・桑原正和・天野健一 (松研薬品)